

和歌山 人・もの・地域

和

n a g o m i

Vol.45
2021

特集

ロケット発射場がまもなく完成
和歌山でワーケーション
世界に誇る和歌山の技術力

日本を元気にする
和歌山の未来

知事対談 早田卓次×仁坂吉伸

和歌山の素晴らしい逸品 [紀州備長炭]

Wakayama Active People

おうちで楽しむ! WAKAYAMA [和歌山を楽しむ和洋菓子編]

プレミアム和歌山 [紀州和牛]

写真:作り手の思いが輝きから見える、クオリスサイクルズの自転車フレーム。

宇宙ウィークでロケット発射場から照射されたサーチライト。ロケットが飛ぶ方向を示している。(串本町橋杭岩)

和歌山から宇宙へ

日本を 元気にする 和歌山の未来

長く続く新型コロナウイルスという夜。
しかし明けない夜はない。
世界中の人々が、知恵と想いを寄せ、
夜明けという未来を目指す。
新しい産業、新しい働き方、
そして世界に誇る和歌山の技術力。
夜空を照らす一条の明かりが示すのは、
日本を元気にする和歌山の未来かもしれない。

令和元年11月より串本町で建設が始まった日本初の民間ロケット発射場「スペースポート紀伊」。事業を行うスペースワン株式会社は、令和3年夏に発射場の完成、同年度中の打ち上げを目指し、工事が進められている。

打ち上げられるロケットは、全長18メートル、重さ23トン程と小型だが、地上から500キロの低軌道に150kgの衛星を上げる能力がある。「当社が開発しているロケットは、H-IIAやH-IIBといった巨大なものではありませんが、JAXAなどの優れた技術をベースに開発しています。また発射点だけのように思われているかもしれませんが、計測機器を含む全ての部品は、各パートナー企業の工場から陸路で届けられ、この「スペースポート紀伊」で組み立てられます」と語るのは同社社長の太田信一郎さん。

一昔前と比べ、現在ではカメラや携帯電話などに使われる技術は進歩し、通信や観測機

本州最南端の串本町は、宇宙に最も近い町になる

器などの小型化や精度も驚くほど向上し、それに伴い衛星の小型化も進展した。「そういう意味でも今後は“小型衛星の打ち上げ”小型ロケットの需要は増加すると考えています。そこで当社は“世界最短”の打ち上げと“世界最高頻度”の打ち上げを掲げ、将来的には年間20機のロケットを打ち上げる予定です」。

そんな中で発射場を建設するためには、様々な条件が求められる。「一つ目は南または東方向に開けていて、陸地がなく安全であるという地理的な条件。二つ目は部品などが陸送できるという経済効率的な条件。これらの条件を全てクリアし、発射場建設に一番適していたのが、ここ本州最南端にある串本町だったのです。しかし最も重要で大切な条件は、地元の人々に歓迎されていることでした」と太田社長。

南国特有の真っ青な空が広がる串本町は、宇宙に一番近い町となる。



和歌山県串本町で感じるワクワクを皆様と共有したい！

民間ロケット発射場の建設は、日本においてはじめてです。スペースワンが考える最も大切なことは事業の継続性です。人類に残された最後のフロンティアは宇宙と深海とよくいわれます。やはり宇宙という言葉を見ると年齢に関係なくワクワクしますよね。串本町でもロケット発射場の建設に伴い、子供や学生さんたちだけでなく、住民の方々にも関心を持ってもらっています。そして今までになかった産業として、多くの方々に良い影響を与えられればと考えています。私も何度となく伺っていますが、本州最南端である串本町は風光明媚で食べ物が美味しいところです。これからも地元の皆様に夢を届けたいと思っています。

串本町より打ち上げられるスペースワンのオリジナルロケット「ガイロス」。



location
[民間初の発射場]
universe

①



③



②



④

①串本町荒船海岸近くに建設中の「スペースポート紀伊」の発射予想図。周囲を山々に囲まれ、南方に陸地や島がないのがわかる。②③「スペースポート紀伊」は、総合司令棟、ロケット組立棟、発射点、ロケット保管庫その他付帯施設から構成されている。写真手前が「発射点＝ロケットの打ち上げを行う場所」。発射点の向こうに見えるのがロケット組立棟。④ロケット打ち上げのイメージ図(※①④スペースワン株式会社提供)。

“ロケット”という 新たな魅力が 串本に生まれた

location
[夢は宇宙へと続く]
universe



①串本町大島檣野埼灯台よりロケット発射場方向を指す宇井さん。②串本から大島に向かいそそり立っている橋杭岩。その姿はまるで橋脚のよう。③ラムサール条約にも登録されている串本の海。世界でもっとも北にあるサンゴの海中世界が広がる。本州最南端である串本は、美しい絶景に満ちている自然豊かな町である。



④⑤串本町ではロケット発射場への認知を深める為、観光ガイドに講習会を行い、宇宙ガイドを養成。その後、町内の小・中・高校でワークショップを開催した。⑥4月1日から運行されているロケットの絵がラッピングされた町営バス。発射場近くの「佐部・上田原線」を運行する。
一般社団法人南紀串本観光協会 電話/0735-62-3171



小・中・高校のワークショップで使用されたロケット教本。



令和3年度中の打ち上げを目指す中で、串本町では「ロケットの発射に様々な期待が集まっている。そのひとつが観光資源としての魅力だ。『スペースポート紀伊』は日本初の民間ロケット発射場であり、発射場そのものが本州に建設されるのも初めて。そして最も特徴的なのは、極めて人と近い距離にあるということ。

「串本町には、ダイナミックな自然が身近にあります。ダイビングやカヤック、ホエールウォッチングなどが人気の観光コンテンツです。そこに「ロケット」が身近な距離にやってきます。地形的に発射点自体を直接見ることとはできませんが、最も近い見学場は2キロほどの所にあり、ここまで近寄れるのは世界的にも珍しいと言われています」と語るのは南紀串本町観光協会の宇井晋介事務局長。「船を使って海上から見たり、大島から陸上で見たりと、多くの方に楽しんでもらえるように見学場所を準備しています。カヌーに乗りながらロケットの発射を見ると、間近で聞く発射時の音は凄いだらうとか、想像するだけ

でワクワク。また発射も年20回ほどになる可能性もあり、見学の機会も多くなるので観光資源として非常に魅力的です」。

とはいえ課題も多い。「1番に考えられるのは発射時間の流動性です。発射の延期は旅行者のプログラム変更を余儀なくします。また見学場所の整備や国道42号の渋滞緩和などやるべきことはたくさんありますが、未知の体験なのでわからないことだらけです」。

しかしロケットの恩恵は大きく、観光だけでなく、雇用機会の増大にも繋がると考えられている。「すでに橋杭岩近くに新しいホテルができ、飲食店などの周辺施設も今後増えてくるでしょう。またロケットの組立や発射に関連する新しい工場など必要となるかもしれません。さらには子供たちが「ロケット」や「宇宙」を身近に感じ興味を持って学ぶ事で、関連する技術者や研究者、また宇宙飛行士への道が広がる可能性もあります」と語る宇井さんの視線の先には、希望の星々が輝く宇宙が見えている。

和歌山で ワーケーションを するということ

ワーケーションの聖地と呼ばれる和歌山県。人口当たりのWi-Fi整備数は全国2位で、超高速ブロードバンドの整備率は99.9%。政府機関による災害時でも途切れないネットワーク環境も整備され、ワーケーション利用者を受け入れるためのネットワーク構築なども全国に先駆けて進められてきた。そんな中で新型コロナウイルスの感染拡大により、社会のあり方や従来の働き方に対する認識が大きく変わることとなった。豊かな自然や伝統ある歴史、そして世界遺産や日本遺産といった地域の魅

力に触れながら働くことができる和歌山でのワーケーションに今、注目が集まっている。高野山は、平安時代に空海が開いた密教の根本道場である。その静謐な空気に満ちた天空の聖地でも、ワーケーションができる宿坊や施設の整備が進められている。「職場や自宅以外で働く」というワーケーションは、始まったばかりの新しい働き方で、高野山でも始めたばかりの取組です。高野山で体感する多くのことが非日常的なものです。そんな中でワーケーションを通じて自由に何かを感じても

らえれば」と語るのは西南院の住職である和田友伸さん。また日本有数のリゾート地である南紀白浜も人気のエリアで、すでに多くのワーケーション利用者を受け入れている。羽田空港から飛行機で約70分というアクセスの良さに、オフィスのような施設からリゾートホテルまで、様々な働く（ワーク）施設が用意されている。さらには南紀という温暖な気候に美しい海岸、歴史ある温泉や熊野古道にも近いといったバケーション部分の充実も人気を集めている理由のひとつだ。和歌山でワーケーションをするということは、ワーケーションの価値そのものを体験するということ。和歌山という類稀な素晴らしいロケーションから受けるインスピレーションは、仕事にもそして生きることにもいい影響をあたえることに違いない。

ワーケーションとは work×vacation

ワーク（仕事）とバケーション（休暇）を掛け合わせた造語。普段の職場とは異なった場所で仕事をしながら、地域の人と交流したり、地域の魅力に触れたりすることのできる取組です。

location [南国リゾート白浜] relax

⑤ワーケーションでの利用客も積極的に受け入れているホテルシーモア。インフィニティ足湯に入り、目の前に広がる太平洋を眺めていると斬新なアイデアも浮かびそう。⑥円月島は風光明媚な白浜のランドマーク。

SHIRAHAMA KEY TERRACE HOTEL SEAMORE
住所／西牟婁郡白浜町1821 電話／0739-43-1000



⑥



⑤



location [歴史溢れる高野山] healing

①



④



②



③

①重森三玲による庭園を眺めながら仕事ができる西南院。宿坊ならではの特別な雰囲気により心が癒され、集中力が上がる。②西南院はカフェとしても利用可。③高野山の聖域の1つ、壇上伽藍の根本大塔。④高野山観光情報センターはWi-Fiが利用できるワークプレイスでもある。

高野山別格本山 西南院 住所／伊都郡高野町高野山249 電話／0736-56-2421

location

[どこにもないモビリティ]

creativity

file.
02

アイデアが輝く、 和歌山のモビリティメーカー

glafit 株式会社

住所／和歌山市出島36-1
メール／pr@glafit.com

glafit社が提供するの、単なる移動手段というより、乗ってどこかに出掛けたいような新しいモビリティだ。昨年5月にシリーズ第二弾となる「X-SCOOTER LOM」を発表し、再びクラウドファンディングで注目され1.5億円を集めた。そのフォルムはまるでキックボード。乗っているだけでワクワクドキドキするような体験を味わえる。「つねにチャレンジ」を続けるglafit社は、日本を代表する「次世代乗り物メーカー」を目指す。



2017年に開発した自転車×バイクの両者を掛け合わせたハイブリッドバイク

ブレイクのきっかけは? 2017年に行ったクラウドファンディングで、当時国内最高額の1億2800万円を超える資金を集められたことです。複数経営していた会社の一事業として立ち上げたのがglafitでした。その後は多くの企業と資本提携や技術提携を結び、今では多くの部分を和歌山で組み立てています。
代表取締役 鳴海慎造さん



file.
03

世界が注目する 新素材をリリース

株式会社 岡田織物

住所／橋本市高野口町大野757
電話／0736-42-2864

動物愛護の観点からリアルファーを敬遠するスーパーブランドが増える中、世界中から注目を集めているのが岡田織物だ。一昨年は見学・商談に国内外合わせて156社が来社したという。なかでも三菱ケミカルが開発したコアブリッド・サーモキャッチを原料に開発した生地は、太陽光を熱エネルギーに変換する機能と帯電防止機能を兼ね備える画期的なもの。近隣他社とコラボし、世界にマーケットを広げている。



location

[発熱するフェイクファー]

collaboration

地場産業だった訳ですが。 高野口町における繊維業界の全盛期は昭和57年頃。現在の規模はその10分の1程度です。当時はBtoBが主で消費者の顔など見えていませんでした。現在、当社は町内の15~20社と連携することで、メイドインジャパンにこだわりながら小ロットにも対応し、世界を相手にビジネスができるようになりました。
代表取締役 岡田次弘さん



世界に誇る和歌山の技術力

世界的にも有名な経済人から企業まで生み出してきた、進取の気質溢れる和歌山県。その潮流は今も息づき、そして新しい息吹が芽生え続けている。世界が注目するそんな和歌山の企業を紹介したい。

location

[世界一の技術へ]

intention



file.
01

美しきチタンの輝き。世界が注目する ハンドメイド自転車フレームメーカー

KUALIS CYCLES

住所／和歌山市市小路
メール／kualiscycles@gmail.com

独特の雰囲気を出すチタンフレーム。その鮮やかな発色はペイントではなく、電圧をかけて変色させたもの。そんな魅力的な自転車フレームを作っているのが、クオリスサイクルズの西川喜行さんだ。西川さんはもともと住宅などの設計士で、ある日、都内を走るメッセンジャーと呼ばれる人たちの自転車フレームに見惚れてフレーム作りに興味を持った。そしてすぐ都内のフレームメーカーに就職。そこで基礎的な技術を習得する傍ら、チタン加工技術を学ぶために外国へ行くことを決意。独学で英語の勉強をし、世界中に履歴書を送り、世界的に有名なアメリカの「セブンサイクルズ」に入社した。そこで貪欲に技術を学び、6年後には同社

で働きながらクオリスサイクルズを起業した。ある程度の好感触を得て日本へ帰国し、和歌山市にある実家隣に現在の工房を立ち上げた。フレームの大きさを乗り手に合わせるのは当たり前だが、シームレスのチタンパイプを0.05ミリ単位で削り、フレームのしなり具合を調整し、乗り手が求める乗り心地に合わせる。その繊細で確かな技術が認められ、今ではオーダーの20%程度が、シンガポールやマレーシア、ドイツやイタリアといった海外からで、国内オーダーも合わせ、約1年ほどの注文待ちの状態となっている。目標を見定めたら一直線。そのために今の状況に満足せず努力を重ねる。西川さんの視線は常に何歩も先を向いていた。

ターニングポイントは? やはりチタンフレームで世界的に有名だった「セブンサイクルズ」へ入社できたことですね。ワーキングビザの取得は難しく、日本のフレームメーカーにいた4年間は仕事と英語の勉強で、ほとんど遊んでなかったような気がします(笑)。

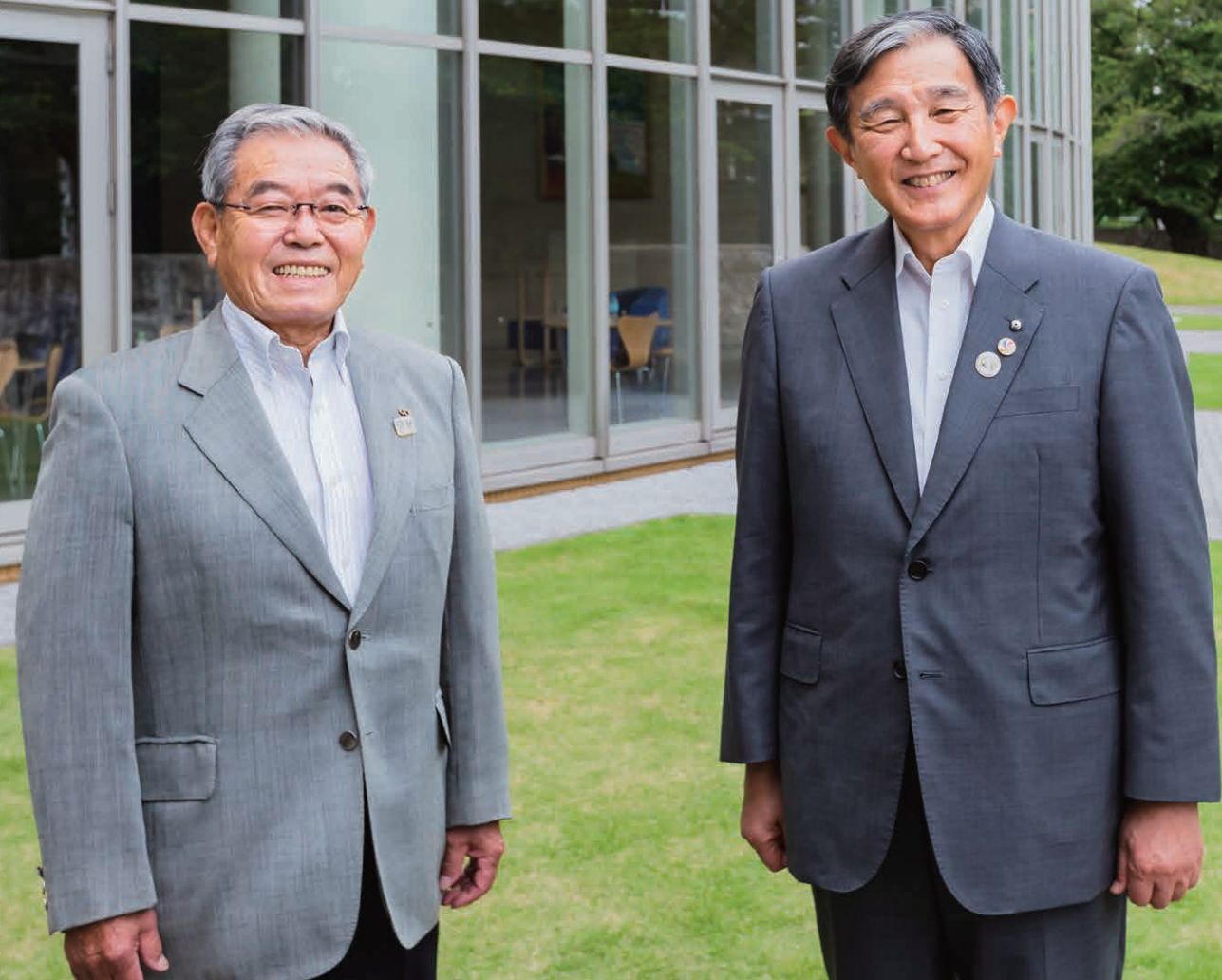


アメリカセブンサイクルズにいた頃のテクニカルノート。ピッチリと書き込まれた技術は、現在の仕事のベースになっている。入社した6年ほどでほぼ全ての部署を経験し、マネジメントも行うようになった。

知事対談

早田卓次 × 仁坂吉伸

1964年東京オリンピック
金メダリスト 和歌山県知事



バスケットやバレーが可能なアリーナや多目的ホール、トレーニング場を併設する
日本大学文理学部百周年記念館前にて。

甦るオリンピックの感動、 スポーツが繋ぐ未来。



半世紀以上の時を越え、甦るオリンピックの感動。
当時、多くの人に勇気と希望を与え、日本の高度経済成長期における一大イベント。
鮮烈な記憶を残し、日本体操界の発展に尽力した、和歌山出身の金メダリストが語るヒストリー。

仁坂知事(以下仁坂) ● 早田さんは田辺市出身で、1964年の東京オリンピック体操競技の選手として、団体総合優勝の原動力となり、個人ではつり輪で金メダルを獲得するなど大活躍されました。また現役を引退されてからも後進の指導や、日本体操協会の大要職を歴任され、体操競技の振興にご尽力されてこられました。まずは体操を始めるきっかけなどをお教えください。

早田卓次(以下早田) ● 1940年、田辺市の芳養という漁師町で生まれました。実家はマグロ船の網元で、大掛かりな漁業をやっていました。それがすごく魅力的で、大人になったらマグロ船に乗って仕事をしたいと思っていました。だから子供の頃の遊びといえば、小型の船に乗り櫓を漕いで沖まで出たり、砂浜を走ったり、網を引いたり、漁師の真似事をするのが日常でした。また小さい頃は

人と話するのが苦手で、常に大人の後ろに隠れているような子供でした。だから遊びも1人でできる逆立ちがいつの間にか得意になっていました。おかげで小学校5年生の頃には、逆立ちで60メートルぐらい歩けるようになっており、それが体操を始めるきっかけになったのかもしれない。そして田辺市立明洋中学校で体操部に入学しましたが、田舎町です

で、体操競技というよりは体操遊びでしたね(笑)。県立田辺高校に進学してからは、本格的に6種類の体操競技の練習をすることになるのですが、ここでも専用の設備はおろか体育館さえありません。だからあん馬やつり輪、平行棒の器具は自分達で設置していました。でも皆、体操が好きだったので、練習だけは休みなしに毎日やっていましたね。顧問の先生も体操は好きでしたが、技術的なアドバイスは全くなく、ただただ好きな体操をしていたという6年間でした。

仁坂 ● しかしきちんとしたコーチもいなかったのに、高校時代には素晴らしい成績を残しておられます。

早田 ● 県の高校選手権で2年連続個人総合優勝をし、3年生の時には近畿大会で個人総合優勝。そして1958年に開催された富山国体では、個人総合2位、平

行棒第1位という成績でした。私も“どうしてあんないい結果を出せたんだろう”と不思議に思うほどの成績でした(笑)。この結果がきっかけで、その後の体操人生が変わりました。

施設の整った大学では
頑張りすぎて負傷も

仁坂 ● 国体での結果が認められ、多くの大学からのスカウトを受けながら、ここ日本大学に進学し、さらに活躍されますよね。

早田 ● 関西よりは箱根の山を越えて体操したいって気持ちが強くて(笑)。最終的には、関東の大学で一番熱心に誘ってくれた日本大学に進学しました。中学高校の6年間とは異なり、大学には体育館もあり器具も揃い、さらにはコーチや監督までいる。しかし決まった時間には体育館で練習を始めないといけないとか、色々ときっちりとしたルールがあるんですね。田舎で自由にやっていた私にとって不慣れなことばかりで、遅刻などとしてよく監督に叱られていました。とはいえ器具が揃っている体育館でいつでも練習ができることが嬉しくて(笑)。ついつい練習オーバーになり、大学1年生の時に左足を、さらにその後は反対側のアキレス腱も痛めるなど、とにかく怪我が多かったですね。今では手術しなくても治す方

早田さんが東京オリンピックで獲得した金メダル。
(わかやまスポーツ伝承館)

法などもあるようですが、当時はアキレス腱を切るということは、スポーツ選手として致命的な時代でした。

仁坂●そんな大きな怪我を乗り越え、4年生の時にはナショナルチームにも選ばれ、日本のトップ選手の仲間入りをされました。

早田●ナショナルチームに選ばれて嬉しかったのは、合宿に参加すると美味しいものが食べ放題だったことです(笑)。学生時代はお金がなく、水を飲んで空腹をこまかすことも多かったのですが、身体は正直なもので、朝昼晩きちんと食べることで厳しい練習で疲れても、一晩寝ると体力が回復するんですね。特に海外遠征ではお肉をお腹いっぱい食べられるもんですから、気力も体力も充実しましたね。

仁坂●そして1964年の東京オリンピックに出場されるわけですが、どのような思い出がありますか。

早田●当時の嬉しかった思い出というと、オリンピックの直前練習のために名古屋に行くのですが、前日に開通したばかりの東海道新幹線に乗せていただいたことです。

仁坂●私たちは当時の東京オリンピックの状況は、映像や新聞などを見て知っていますが、早田さんはそれに参加し、直接、肌で感じてこられたというのが凄いですね。また新幹線の開通や竣工されたばかりの東京タワーなど、日本が高揚している時



わかやまスポーツ伝承館は、和歌山県にゆかりのあるトップアスリートの功績や歴史を紹介、展示する施設。
住所／和歌山市本町2丁目1フォルテワジマ3F 電話／073-423-2215

をされていた時に、田中和仁・理恵・佑典3きょうだいの父、田中章二さんを指導され、卒業後の相談をされた際に、和歌山県へ行くことを勧めてくださったと聞いています。その後章二さんは良き指導者となり、和仁・理恵・佑典という3きょうだいを2012年のロンドンオリンピックへと送り出しました。同一競技において男女の3きょうだいが揃って出場するのは日本オリンピック史上初であり、世界でも例がないことだと聞いていますが、これは元を辿れば早田さんの功績だと思うんですね。その後、2016年にはリオオリンピックで金メダルを獲得した田中佑典選手と共に、早田さんには和歌山県のスポーツ賞の最高位に当たる「スポーツ栄誉賞」を授与させていただきました。

早田●田中章二君とは10歳ほど年齢が違

知事対談

早田卓次×仁坂吉伸

1964年東京オリンピック 和歌山県知事
金メダリスト

田辺市生まれ。1964年東京オリンピック体操競技金メダリスト。1971年に現役を引退。その後、日本大学で後進の指導にあたり、日本体操協会の役職に就き、日本の体操競技の振興に尽力した。2002年には紫綬褒章、2004年国際体操殿堂入り、2019年に旭日小綬章を受章。



代を生で実感されていたんですね。

早田●ところが僕たちは、競技で結果を残すことに必死ですから、周りがどうなっていたかはあまり記憶にないんですよ。それこそ新聞を読みながら、首都高速ができたんだってとか、地下鉄〇〇線が開通したねとか話すぐらいで、実際にそれを見に行ったという記憶はあまりないんです(笑)。

仁坂●なるほど。日本代表という重圧の中ではそんな周囲の状況を気にする余裕はありませんよね。そしてオリンピックでは団体でも個人でも、金メダルをお取りになりました。

早田●団体メンバーは、小野さん、遠藤さん、鶴見さん、三栗さんというローマオリンピックで活躍されたベテランと、「山下飛び」で有名な山下さんという凄

うんですが、彼は本当に体操が好きで、いつも熱心に練習をしていました。特に彼は体が柔らかく、美しい体操を目指してやっていたのを覚えています。実は東京オリンピック女子体操金メダリストのチャスラフスカさんが来日した時に理恵さんの演技を見て、「日本にも女性的な美しさを表現できる素晴らしい体操選手が出てきたね」って褒めていました。そういう点では、章二君の基本を大事にする美しい体操は、確実に3きょうだいに受け継がれていると思います。

仁坂●お話を伺って、本当にスポーツが人と人を繋いでるんだと改めて感動しています。ところで今回のオリンピック聖火リレーでは、和歌山県としてはやはり早田さんに走ってもらうべきだと考え、県内第一走者として走っていただきました。

い人たちでした。そんな中で、無名で最年少だった私が気を遣うことなく実力を発揮し貢献できたのは、練習から気楽に話ができる雰囲気や環境を作ってくれたこの人達のおかげだと感謝しています。また、とにかくベテランと一緒にだったので、練習量だけは負けまいと必死に準備をしてきたおかげで、当日は練習してきたとおりの成果を出すことができました。

夢や感動を繋ぐ オリンピック

仁坂●和歌山にはオリンピックに関する注目すべき4つの物語があります。一つは早田さんも出場された1964年の東京オリンピックの開催秘話です。アジアで初めて開催されたオリンピックであり、日本が国際社会に復帰したことを印象付けるものですが、中南米諸国を行脚して東京に一票を投じさせ、東京開催を実現したのが、御坊市にルーツを持つフレッド和田勇さんです。第2に時代は遡り1936年に開催されたベルリン大会において、棒高飛びで活躍し、「友情のメダル」としても有名な西田修平さんは那智勝浦町出身。第3に「前畑ガンバレ」と連呼されたフレイズでも有名な水泳選手の前畑秀子さんは橋本市の出身です。そして4番目は早田さんだと思ってるんですよ。それは早田さんが日本大学でコーチ

早田●実は関西の第一走者でもあったと後からわかり、さらに責任重大だったんだと気付きました(笑)。当日は、和歌山の素晴らしい景色を感じながら、郷里に恩返しをしたいという思いをもって走らせてもらいました。皆さん治道で一生懸命応援してくれるんですね。やはり和歌山の人はスポーツへの情熱を持った心温かい人が多く、オリンピックへの期待なども感じました。そんな中で、今、オリンピックについて色々な意見はあると思いますが、やはりオリンピックは世界一の素晴らしい夢や感動を与えてくれる祭典です。個人的にはそれを将来これからのある子供たちにぜひ見せてあげたいなと思っています。

仁坂●確かに様々な考え方があります。この世界的なコロナ禍の中で、従来通りの華やかなオリンピックはできないかもしれません。しかしそれは人類の長い歴史の中で考えると、そういうオリンピックがあってもいいじゃないかと思うんです。そもそもオリンピックは早田さんがそうだったように、主役であるアスリートが毎日練習し、腕を磨き、それを世界のひとと競う場です。無観客かもしれない、それでもその時点での最善のオリンピックをすることは、困難の中でも人類が歴史を繋いだという点で意味のあることだと私は思います。本日はお忙しい中、ありがとうございました。



和歌山の
素晴らし
き逸品

vol.01

Kishu-Binchotan

紀州備長炭



紀州備長炭発祥の地・和歌山。ウバメガシなどを原木に焼き上げられる最高品質の白炭「紀州備長炭」は、銅鉄ほどの硬度があり、その断面はまるで磨かれたかのような光沢がある。

紀州備長炭記念公園

住所 / 田辺市秋津川1491-1
電話 / 0739-36-0226
<https://www.binchotan.jp/>



①品質管理を怠らずひとつひとつを目で見て酒との会話を楽しむ。②③酒造りの中で最も難しく、重要なところは「麴」。師と仰ぐ農口杜氏より教わった「膨らませ、乾かせ、老なせ」に忠実に、甘味でなく旨味に変わるまで待つ。④共に酒造りを行う蔵人たち。半年以上まさしく同じ釜の飯を食う。⑤築約100年の酒蔵。夏場でも涼しい北側にタンクがある。酒造りには最適な環境。

吉村秀雄 商店とは

①蔵の隣にある田んぼでは、無農薬の米作りを行い新たな酒造りを行うなど様々なチャレンジも。②大正4年の創業時から造り続ける「日本城」のロゴマーク。当時の理念が今も受け継がれ、妥協なき酒造りが行われている。③「日本庭園を眺めながら一息つくこともあります」と藤田さん。庭園をバックにSNSで発信する動画の収録を行うこともあるそう。④「車坂」は地酒という位置づけをより明確にした限定流通銘柄。山廃造りで醸したラインナップを揃えている。



「いろんなことに目や気を配るのが杜氏の仕事です」と藤田さん。蔵人への采配などマネジメントが大切と話す。

基本に忠実に、そして正直にお酒を造っています。

株式会社吉村秀雄商店 杜氏 ● 藤田晶子 ふじたあきこ

古より歴史や文化を育んできた紀の川。その伏流水を仕込み水に、大正4年から酒造りを行っている吉村秀雄商店で現在「杜氏」を務めているのが藤田晶子さん。高校時代、発酵に興味を持ち、東京農業大学醸造科学科に進学。2年生の時に訪れた山形県の蔵元で、東京にはない景色と空気感、そして酒造り現場の凛とした雰囲気、背筋が伸び、日本酒を造ろうと心に決めたと話す。

東京に戻ると、近くの酒蔵や酒店に出入りしながら「蔵で働きたい」と夢を追う毎日。藤田さんが求める働く条件は「二千石以下で杜氏がいること・山廃で酒造りを行っていること」の2つ。そして念願叶い加賀にある蔵に就職し、山廃の神と呼ばれる農口尚彦杜氏に師事する。「修業期間の10年間は、楽しめる余裕は一切なし。幸いだったのは同年代の仲間が多かったことですね」と当時を懐かしむ。女性杜氏になれないことが多い中、分け隔てなく役割が分担され、ついに麴屋助手に抜擢。泊まり込みで酒造りに携わり、以後様々な知識を習得し、酒造りの全工程を学んだ。

そして2013年、吉村秀雄商店に迎えられた。「話しを聞いた時、色んな不安もありましたが『よし、やるぞ!』と気合を入れ直しました。違う環境に身を置きたいと考えていた矢先だったのでタイミングもよかったんです」と笑顔で語る。今

株式会社吉村秀雄商店
住所 / 岩出市畑毛72
電話 / 0736-62-2121
<https://nihonsyu-nihonjyou.co.jp/>

では5人ほどの蔵人らと共に10月中旬から3月ぐらいまで蔵に籠り、寝食を共にしながら酒を造る。「夜寝ているときに、ふと六感が揺さぶられ酒母室に駆けつけることがあります。耳を澄まして目を凝らし、何もなかったら安堵するんです。基本に忠実に、欲を出さず素直な酒造りを続けていきたい。今、次世代に向け、醸造の技術を用いた新たな商品も開発中なんです」と瞳を輝かせる藤田さん。伝統を守りながら新たな取り組みに挑む次の一手にも注目したい。

歴史浪漫溢れる 和歌山県の 玄関都市・岩出市。



大阪府や和歌山市への交通アクセスに恵まれ、年々人口が増え続けている活気溢れる和歌山県の玄関都市・岩出市。四季折々の花々を愛でながら、荘厳な国宝建造物を見学できる「新義真言宗総本山根来寺」や、夏目漱石が講演を行った「旧和歌山県議会議事堂」など、歴史ファン注目のスポットがある魅力的な街だ。



3

紀州南高梅がそのままぺちゃんこのクセになる味！

べたんこちよび梅

紀州南高梅の種を取り除き、梅肉をそのまま薄くのばして天日乾燥したのが「べたんこちよび梅」。材料は紀州産の梅と塩だけのお菓子？というよりいつでもどこでも食べられる梅干し(笑)。しょっぱさがクセになる懐かしい味わい。夏の塩分補給用としてもオススメ。

マルヤマ食品 株式会社
住所／日高郡みなべ町西本庄1282
電話／0739-74-2068



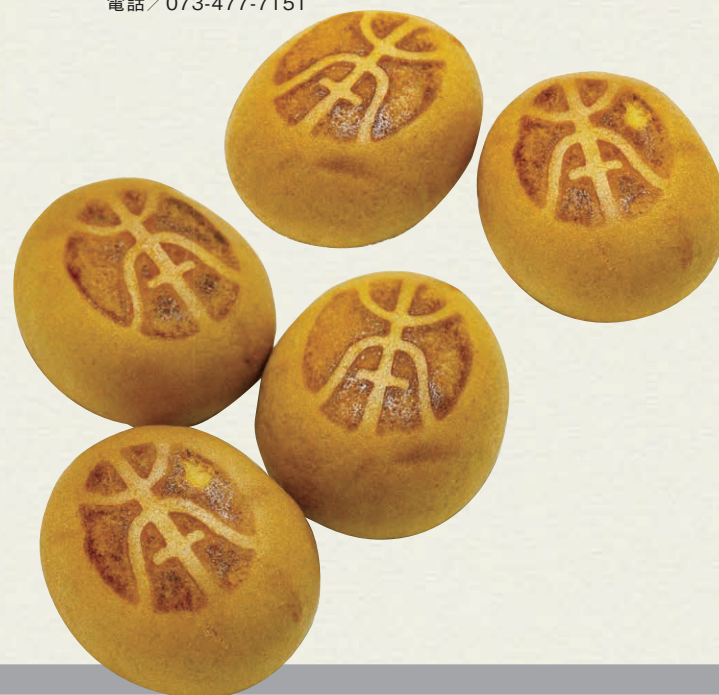
4

もちもちの皮が新しい由緒ある饅頭の進化形？

金の本ノ字饅頭

同社の看板菓子の一つ「本ノ字饅頭」。は、江戸時代に紀州徳川家の参勤交代の道中に携行食としても重宝された歴史ある饅頭。その「本ノ字饅頭」と同じこし餡に、地元酒蔵の酒粕を混ぜ、焼き上げたのがこの「金の本ノ字饅頭」。もちもちとした食感の皮と、上品な甘さのこし餡の相性が絶妙。

株式会社 総本家駿河屋
住所／和歌山市小倉25
電話／073-477-7151



5



密教の聖地、高野山で生まれた爽やかな味

笹巻あんぶ

高野山で唯一の老舗生麩(なまふ)屋が作った「笹巻あんぶ」。は、よもぎ麩の中にこし餡を入れ、熊笹(くまざさ)で包んだ生麩まんじゅう。あっさりした甘さとモチモチの食感が特徴で、熊笹の爽やかな香りにつつまれて「もうひとつ」。

麩善
住所／伊都郡高野町高野山712
電話／0736-56-2537

おうちで楽しむ！ WAKAYAMA

vol.01

和歌山を楽しむ和洋菓子編

和歌山の自然や歴史が感じられる
昔懐かしい味わいから新しいテイストまで、
和歌山のお取り寄せ可能で、魅力的なお菓子をご紹介します。

1



アイスだけど
アイスじゃない？
クリーム

2

まるで熊野の森に
佇んで癒される
ような香り



熊野の香り4896

森の香りが楽しめるボタニカルなチョコレート。一口ごとに広がるのは世界遺産「熊野」の森の中にあるような清々しい「香り」。その秘密は熊野の杉から抽出した100%天然エッセンシャルオイル。香りは「熊野芝原杉」=48、「熊野クロモジ」=96、の2種類で、上品な味と天然の香りに癒されたい。

株式会社 エムアファブリー
住所／新宮市五新1-21
電話／0735-22-0662

アイスかげろう

柔らかくふわふわの生地に優しい甘さのクリーム。口に入れた瞬間、溶けるような「かげろう」。がアイスになった「アイスかげろう」。は、新しい白浜の銘菓。バニラアイスに近づけたクリームだがアイスではないので溶けてなくなることはない人気。本店のみ販売の「生かげろう」。も一部発送可能。

株式会社 福菱
住所／西牟婁郡白浜町1279-3
電話／0739-42-3128



今号の「和」題

旬の和歌山情報をお届けします！

WAI TOPICS 01

プレミアム和歌山PR冊子、「Theプレミアム和歌山～至高の逸品～」を発行！

和歌山県は、優れた県産品を認定・推奨する「和歌山県優良県産品（プレミアム和歌山）推奨制度」を平成20年度に制定しました。創設から十数年を経て、現在の推奨品は1,000点を超えています。和歌山が誇る自然の中で生み出される農林水産品とその加工品、歴史と文化を背景に培われた技術・技能による工芸品や産業製品、古くから伝わる祭りなど、至高の逸品を揃えております。

今回新たに作成したPR冊子では、プレミアム和歌山審査委員特別賞や奨励賞受賞商品を掲載するとともに、推奨品をジャンル別に紹介しています。また、著名人の方にプレミアム和歌山パートナーとして応援いただき、その方々による試食&座談会やお取り寄せしたい逸品、生産者訪問なども併せて紹介しています。

“和歌山県内で生産・製造されたもの”

問い合わせ／和歌山県企業振興課 電話／073-441-2842

の”、”安心・安全を重視したもの”、”和歌山らしさ・和歌山ならではのもの”の3つの観点から認定・推奨された品々から、作り手のものづくりに対する想いや伝統を重んじる心に触れていただき、和歌山の豊かさを感じて下さい。



WAI TOPICS 02

JR西日本の長距離列車「WEST EXPRESS 銀河」が和歌山県を運行！



京都駅と新宮駅を結ぶ長距離列車「WEST EXPRESS 銀河」が7月から12月まで和歌山県内を運行します。紀南7市町村と県がJR西日本に要望し、運行が実現しました。

JR西日本による紀南への運行発表後、関係市町村と県が受入協議会を設置し、乗客のおもてなしについて検討してきました。停車駅となる串本駅では国の天然記念物に指定されている絶景「橋杭岩」、周参見駅では近

くの津波避難タワーから美しい海岸の景色を楽しめます。また駅停車時には、地元食材を満喫できるよう、飲食店や宿泊施設にご協力いただき特製弁当を配布します。さらにカツオの刺身やくじらの竜田揚げ、地酒の提供や地元物産の販売も用意しています。

この銀河は、6両編成で全席指定。新型コロナウイルス対策として乗客数を制限するとともに、車両の抗ウイルス・抗菌加工、ソーシャルディスタンスや非接触等、ハード・ソフト両面において感染防止対策を実施して運行されます。

この機会に是非、歴史や文化、風光明媚な和歌山を楽しんでいただき、これを契機にリピーターになっていただきたいと考えています。

問い合わせ／和歌山県観光振興課 電話／073-441-2775



取材をバックアップします！

和歌山県では、メディア関係の皆様へ取材への積極的な協力・現地情報の提供等を行っています。

- お問い合わせ ■和歌山県広報課
TEL. 073-441-2032 FAX. 073-423-9500
e-mail / nagomi-waka@pref.wakayama.lg.jp
- わかやま紀州館
東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館B1F
TEL. 03-3216-8000 FAX. 03-3216-8002
e-mail / kishukan@wakayama-kankor.or.jp

和歌山県フォトライブラリー（写真貸出）
<http://wave.pref.wakayama.lg.jp/photo/>

和歌山県PR動画（動画素材貸出）
<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/000200/media/>

和-nagomi- バックナンバー
<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/000200/nagomi/>

ふるさと和歌山応援寄附

ふるさと納税で、元気なわかやまに。

1万円以上の寄附で和歌山を味わえる「梅干し」や「醤油」など、プレミアム和歌山の商品297品の中から贈呈！（県外にお住まいの方が対象）※詳しくは、ふるさと納税サイトをご覧ください。

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010500/furusato/>

和歌山 人・もの・地域



2021 vol.45



「和-nagomi-」はリサイクル適性Aランクの材料及び植物油を含有した印刷インキを用いて制作しています。

企画・発行／和歌山県
発行日／令和3年7月16日
企画編集／サンケイ広告(株)
制作／(有)YS'pros
印刷／中和印刷紙器(株)

赤身の旨さを極めた黒毛和牛

消費者の健康志向の高まりや嗜好の変化を背景に、赤身肉に注目が集まっている中、和歌山で開発されたのが、サシが少なく、赤身の美味しさが際立つ黒毛和牛、紀州和華牛だ。約3年間の試行錯誤を経て、リサイクル飼料を手掛けるエコマネジメント株式会

社、近畿大学、和歌山県畜産試験場の3者が共同開発に成功した。美味しさの秘密は、近畿大学の分析研究を基に作られた飼料にある。県の特産品であるみかんジュースや醤油などの

絞りがすを材料としたエコフィードを与えることで、一般的な霜降り和牛と比較して、脂肪は約10%少なく、ビタミンEが約1.7倍豊富な牛肉が出来上がる。「食品廃棄物を利用し、環境負荷を抑えた工程で作るエコフィードを使うこと



和歌山県優良県産品（プレミアム和歌山）推奨制度
安心・安全を基本に幅広い分野で優れた県産品を“和歌山らしさ”、“和歌山ならではの”視点で推奨する。

プレミアム和歌山 検索

で、SDGs達成にも貢献していると考えています」と語るのはエコマネジメント株式会社社長の阪口宗平さん。臭みやしつこさがなく、飽きの来ない美味しさ。肉質はやわらかく、脂肪分が少ない分、あっさり食べられる。「ステーキはもちろん、アクがにくいので、しゃぶしゃぶで食べるのもおすすめです。現在は、年間約50頭という出荷ペースですが、今後は生産を拡大して行きたいですね」。

紀州和華牛（きしゅうわかうし）

紀州和華牛協議会
住所／和歌山市新留丁185（エコマネジメント株式会社内）
電話／073-435-0941
和歌山県内の飲食店、小売店、卸売店、一部スーパーで取り扱い。

令和2年度プレミアム和歌山推奨品
審査委員特別賞 受賞



残間里江子審査委員長

審査をするごとに、和歌山県の新たな魅力を発見しています。自然豊かで、おいしいもの、魅力的な品がたくさんありますので、ぜひプレミアム和歌山にご注目ください。



令和3年4月29日は、たま名誉永久駅長の22歳の誕生日でした。新型コロナウイルス感染症対策のため誕生日イベントは実施されませんでしたが、和歌山電鐵の社員がケーキを用意し、居合わせたお客様とニタマウルトラ駅長が「ハッピーバースデーたまちゃん」と小さな声でお祝いをしました。

一日も早く、以前のように和歌山電鐵をご利用いただき、来年はたま名誉永久駅長の誕生日をみんなで祝いできることを願っています。



和歌山電鐵はたま駅長たちをモチーフに、水戸岡鋭治氏デザインによる「たま電車ミュージアム号」を創り上げるプロジェクトを実施し、「サポーター」を募集しています。

https://www.wakayama-dentetsu.co.jp/2021/05/25/tamatrain_museum_supporter/

お問い合わせは、和歌山電鐵(TEL.073-478-0110)へ。駅長たまのツイッター @ekichoTAMA

【よんたまちゃんの貴志駅駅長代行勤務日】ニタマ駅長の公休日(水・木曜)に貴志駅にて勤務しております。

「お誕生日おめでとうございます」とお祝いするニタマ駅長。



たま名誉永久駅長、22歳の誕生日おめでとう！

WAKAYAMA ep.16 ニタマとパンダの ほっこり近況報告

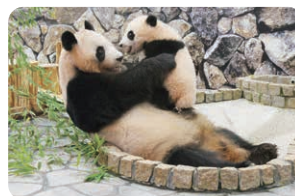


和歌山県PRキャラクター「きいちゃん」

楓浜(ふうひん)に
ハーフバースデーのプレゼント



昨年11月に誕生したジャイアントパンダの赤ちゃん楓浜が、5月22日に生後6ヶ月を迎えました。これまでスクスクと成長しており、今後ますます成長できるよう願いを込めて、ハーフバースデーをお祝いをしました。プレゼントは、「1/2(ハーフ)」と模ったタケノコと楓浜の名前にちなみ「楓」の形にくりぬいたニンジン。母乳のみで育ってきた楓浜ですが、5月11日からリンゴを食べ始め、最近はタケノコやニンジンにも興味津々です。これからも楓浜の成長を温かく見守って下さい。



プレゼントされたタケノコやニンジンで遊んだ後は、お気に入りの水飲み場を満喫していました。6月28日、楓浜は体重13.05kgにもなりました。

乳歯から永久歯へと生え変わり始めており、プレゼントのニンジンも徐々に食べられるようになります。

お問い合わせは、アドベンチャーワールドインフォメーション(ナビダイヤル.0570-06-4481)へ。公式ツイッター @aws_official ホームページ <https://www.aws-s.com/>